

野外科学懇話会 "Noctiluca" セミナー 山口貝類研究談話会2006年度公開シンポジウム

野外科学懇話会 "Noctiluca"・山口貝類研究談話会合同セミナーが、2006年12月2日（土）13:00～16:30に、理学部5号館5102教室において行われます。第一線の貝類研究者の話を直接聴くことができる絶好の機会です。

なお、懇親会以外の参加は無料です。ご参加お待ちしております。

13:10～13:50

沈木にみられる特異な貝たち
～沈木生物群集が今、熱い～
芳賀拓真（東京大学）



13:50～14:30

樹上性カタツムリ *Amphidromus* 属における
左右二型現象の進化
浅見崇比呂（信州大学）



スナガイ *Gastrocopta armigerella*
(東邦大学習志野キャンパス)

14:40～15:20

日韓共同干潟調査の歴史と成果
山下博由（貝類保全研究会）

15:20～16:00

余は如何にして保全貝類学徒となりし乎
Ver. 2006

福田宏（岡山大学）



カハタレカワザンショウ（仮称） *Assiminidae* sp.
(小瀬川河口)



ニホンケンガイ *Carychium nipponense*
(千葉県習志野市)

16:00～16:30

総合討議

19:00～21:00 ?

懇親会

（懇親会の参加費は2000円程度の予定です）

※写真にあげた貝はどれも大きさ1～数ミリの微小種です。身近な場所にも多くの知られていない生き物が暮らしています。